

(参考1) 小水力発電の事例 (梓川右岸幹線地区)

○地域用水環境整備事業 梓川右岸幹線地区の幹線水路の落差を利用した小水力発電施設

【発電所諸元】(数値は計画時点)

位置 : 長野県松本市
 最大出力 : 191.5kW
 年間発電可能量 : 1404MWh
 最大使用水量 : 2.55m³/s
 有効落差 : 2.05~2.86m
 運用開始 : H28年6月(一部)
 造成事業名 : 地域用水環境整備事業
 施設管理者 : 長野県梓川土地改良区

電力供給対象施設の例(赤松分水工)



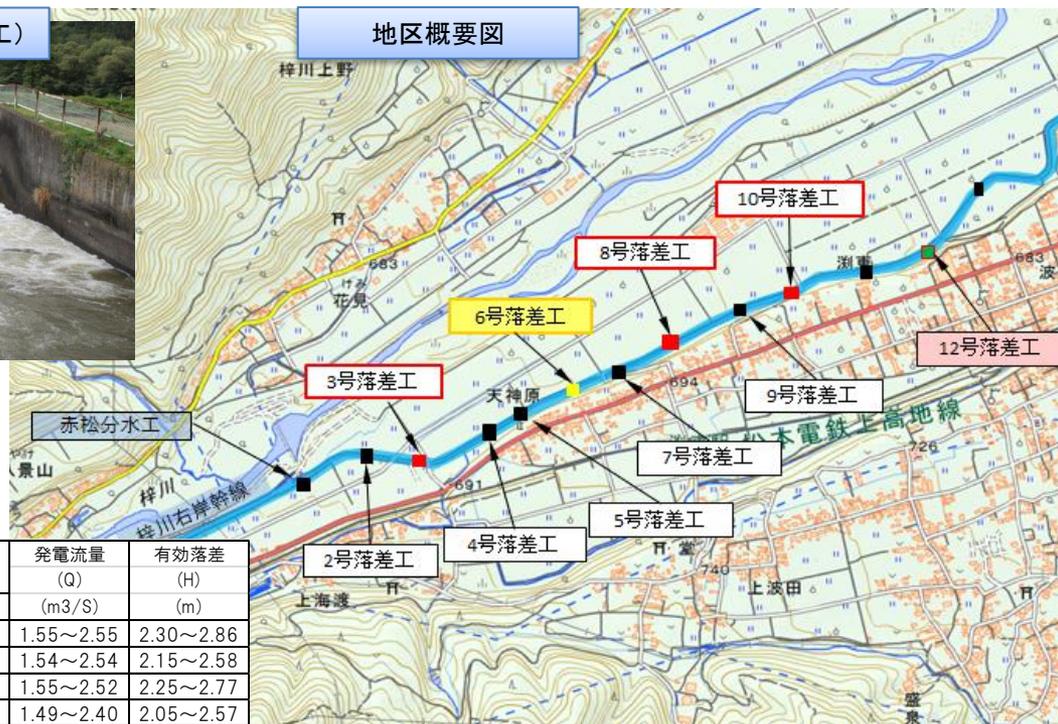
計画地点4(10号落差工)



計画地点1(3号落差工)



地区概要図



設置箇所(6号落差工)



計画地点3(8号落差工)



地点名	発電量[kw]		発電流量 (Q) (m ³ /S)	有効落差 (H) (m)
	灌漑期	非灌漑期		
3号落差工	49.9	39.1	1.55~2.55	2.30~2.86
6号落差工	48.2	35.1	1.54~2.54	2.15~2.58
8号落差工	49.9	37.8	1.55~2.52	2.25~2.77
10号落差工	43.5	33.8	1.49~2.40	2.05~2.57